1か　ヨセフがあらかじめ持ったこと

創 37:1〜11　ヨセフはまた、ほかの夢を見て、それを兄たちに話した。彼は、「また、私は夢を見ましたよ。見ると、太陽と月と十一の星が私を伏し拝んでいるのです」と言った。ヨセフが父や兄たちに話したとき、父は彼をしかって言った。「おまえの見た夢は、いったい何なのだ。私や、おまえの母上、兄さんたちが、おまえのところに進み出て、地に伏しておまえを拝むとでも言うのか。」兄たちは彼をねたんだが、父はこのことを心に留めていた。（9〜11）

1. ヨセフは家庭問題で苦しみました

1）ヨセフは母親ラケルを亡くす経験をしました
2）ヨセフは腹違いの兄たちに迫害されました
3）ヨセフは兄たちによって奴隷として売られました

2. ヨセフがあらかじめ持ったことがありました

1）ヨセフは世界福音化の夢をみました（創 37:1〜11）
2）ヨセフは奴隷になっても、神様がともにおられたので幸運な者となりました（創 39:1〜6）
3）ヨセフは監獄に入っても、神様がともにおられたので答えを与えました（創 40:1〜23）
4）ヨセフは神様の霊の宿る者でした（創 41:1〜38）
5）ヨセフは神様が自分を先に送られたことを知っていました（創 45:1〜5）

3. 後にヨセフに起こったことがあります

1）ヨセフはエジプトの総理になりました
2）エジプトの総理になったヨセフは、神様がくださった世界福音化の夢が実現するのを見ました

聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

02

聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- ✓ 聖書
- 献金
- 筆記用具
- ＜子どもの祈りの手帳＞
- 週報を読む

一週間握るみことば

2か　モーセがあらかじめ持ったこと

出 2:1～10　さて、レビの家のひとりの人がレビ人の娘をめとった。女はみごもって、男の子を産んだが、そのかわいいのを見て、三か月の間その子を隠しておいた。（1～2）パロの娘は彼女に言った。「この子を連れて行き、私に代わって乳を飲ませてください。私があなたの賃金を払いましょう。」それで、その女はその子を引き取って、乳を飲ませた。その子が大きくなったとき、女はその子をパロの娘のもとに連れて行った。その子は王女の息子になった。彼女はその子をモーセと名づけた。彼女は、「水の中から、私がこの子を引き出したのです」と言ったからである。（9～10）

1. イスラエルに奴隷時代がきました

1）イスラエル民族がエジプトの奴隷になりました
2）パロ王は、イスラエル民族が増え続けるので、男の子の赤ん坊を殺害せよと命令しました
3）そのとき、ヨケベデというひとりの女性が決断しました

2. モーセがあらかじめ持ったことがあります

1）モーセは母親のヨケベデから契約を伝えてもらいました（出 2:1～10）
2）モーセは血のいけにえをまず悟るようになりました（出 3:1～10（ミデヤンで））
3）モーセを通して、10 のわざわいが 10 の奇跡に変わりました（出 5:1～12:46）
4）イスラエルの民はモーセを通して出エジプトしました（出 14:1～13）

3. 後の答えがモーセにありました

1）三つの祭りの答えを与えられました
2）契約の箱に従って行きました
3）幕屋中心の生活をしました

聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

09

聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- [x] 聖書
- [ ] 献金
- [ ] 筆記用具
- [ ] ＜子どもの祈りの手帳＞
- [ ] 週報を読む

一週間握るみことば

聖書のレムナント７人が あらかじめ持ったこと１

〈子どもの祈りの手帳〉を久しぶりに開いたお友だちもいるでしょう。このごろ新型コロナウイルスのせいで、いろいろなことが変わりましたね。家にいる時間が多くなって、運動不足になっていませんか。友だちといっしょに遊びたくても、なかなか集まることができなかったり、教会の友だちとたくさんおしゃべりしたくても、ダメだと言われたり、なんだかおもしろくないなと思うことが増えたのではありませんか。運動会や学芸会などの発表会が中止になった学校もあるかもしれません。世界中がパンデミックのために騒いでいます。難しい時代になっているように思いませんか。

５月の学院福音化で取り上げるレムナントたちは、ほんとうに難しい時代を送っていました。一方で、彼らは神様が自分の未来に必ず重要なことを任せておられることを分かっていたのです。今月見るレムナントたちにはもう一つの共通点があります。なによりも先に、神様がくださる力をあらかじめ持っていたということです。ヨセフは総理になって世界福音化をして、モーセは民族の指導者として立って、いろいろな作品を残しました。ヨシュア、カレブ、ラハブのような人物は、歴史を変えたほどの、空前絶後の答えを受けました。サムエルは戦争を防いで、ダビデを王として立て、ダビデは羊飼いから王になって、神様が喜ばれる答えを受けて、神殿を準備しました。

みんなは聖書に記録された学院福音化のレムナントのように重要な答えを受けるレムナントです。それなら、あらかじめ力を持つ〈子どもの祈りの手帳〉の時間を味わいましょう。

ノートに祈りの課題を書いて、毎日、定刻祈りをしてみましょう。そうして一か月がすぎたら、次の月の始まりに祈りの課題を見直して、そのまま書き写すか修正をしてみます。こうして毎日〈子どもの祈りの手帳〉をしていると、自然と祈りの課題は修正されるでしょう。（最初の月に「おこずかいがたくさんもらえますように」と書いたとすれば、翌月には「献金できるように、おこずかいがもらえますように」さらに翌月には「光の経済について分かりますように」と修正されるでしょう）間違っていても良いのではじめることです。神様がすぐに祈りの課題を神様が願われる方向に修正してくださるでしょう。祈りの課題を毎日考える人と、考えない人との間には天と地ほどの差が生まれます。これを10年、20年、30年と積み重ねるなら、どのような変化があると思いますか。

次に〈子どもの祈りの手帳〉を通じて深い黙想時間を持ってみましょう。サムエルが生きていたとき戦争がなかったと言われていますが、戦争に対して深く考えてみたことがありますか。ゴリヤテに少年ダビデが勝ったと言われていますが、私はなぜ問題に対しておじけづいているのかを深く考えてみたことはありますか。このようなことを黙想してフォーラムして記録として残すようになれば、やがてとてもすばらしい作品を残すことができるでしょう（すてきな物語や映像を作ることもできるでしょう）。また、ひとりで神様とフォーラムすることができるように〈子どもの祈りの手帳〉を活用してみることもできるでしょう。

定刻祈りの時間を〈子どもの祈りの手帳〉の時間にしてみましょう。〈子どもの祈りの手帳〉をしながら、スケジュールを書きこんで、重要なアイデアを空いている部分に書いてみましょう。（私はアイデアが浮んだら記録したものです。するとやがて、それらのアイデアが作品になっていましたよ）

〈子どもの祈りの手帳〉は、私の歴史を記録した本です。私の受けた恵みをはじめとした多くのことを空いているところやノートに書いていると、やがてそれらは私たちの次世代のためのものになり、彼らに見せてあげるものになるでしょう。〈子どもの祈りの手帳〉やノートに詩を書いたり、エッセイを書いたり、イラストを描いたり、講壇のみことばと〈子どもの祈りの手帳〉のみことばでまんがを描いてみるのもおすすめですよ。

私たちに適用しよう！

あらかじめ持ったレムナントの話を参考に、私の話を４コマまんがで描いてみましょう。

①私といまの時代の問題

②似ている聖書の人物

③「あらかじめ見た」私の姿

④神様がくださる答えをいきいきと見よう

3か

出エジプトの主役があらかじめ持ったこと

ヨシ 1:1〜9　ただ強く、雄々しくあって、わたしのしもべモーセがあなたに命じたすべての律法を守り行なえ。これを離れて右にも左にもそれてはならない。それは、あなたが行く所ではどこででも、あなたが栄えるためである。この律法の書を、あなたの口から離さず、昼も夜もそれを口ずさまなければならない。そのうちにしるされているすべてのことを守り行なうためである。そうすれば、あなたのすることで繁栄し、また栄えることができるからである。わたしはあなたに命じたではないか。強くあれ。雄々しくあれ。恐れてはならない。おののいてはならない。あなたの神、主が、あなたの行く所どこにでも、あなたとともにあるからである。（7〜9）

1. 神様のみこころを知っていた人たちは、出エジプトの主役になりました

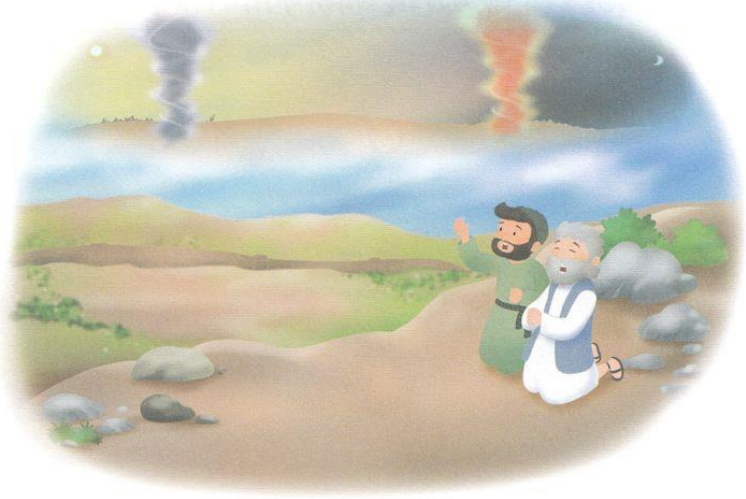
1）出エジプトです　　2）荒野の奥義（答え）です　　3）カナン入国です

2. 出エジプトの主役があらかじめ持ったことがありました

1）ヨシュアは契約のみことばを握ってカナンの地に入りました（ヨシ 1:1〜9）
2）カレブは契約を握って信仰によってアナク山地を征服しました（ヨシ 14:6〜15）
3）ラハブは契約を握って信仰によって偵察に来た人を隠しました（ヨシ 2:1〜16）

3. 荒野の道を通った後に起こったことがあります

1）イスラエルの民はヨルダン川を渡りました（ヨシ 3:1〜13）
2）イスラエルの民はエリコの城壁を崩しました（ヨシ 6:1〜20）
3）イスラエルの民は日と月を止める空前絶後の答えを受けました（ヨシ 10:10〜14）



聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

16

聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- ☑ 聖書
- ☐ 献金
- ☐ 筆記用具
- ☐ <子どもの祈りの手帳>
- ☐ 週報を読む

一週間握るみことば

4か　サムエルがあらかじめ持ったこと

Ⅰサム 3:19　サムエルは成長した。主は彼とともにおられ、彼のことばを一つも地に落とされなかった。

1. ペリシテ時代がありました

1）ペリシテがイスラエルの民に対して略奪と攻撃を繰り広げました

2）ペリシテがイスラエルを攻撃して、契約の箱を奪いました

3）ペリシテの国にわざわいが臨みました

2. サムエルがあらかじめ持ったことがあります

1）サムエルは契約のみことばを握りました

（1）母のハンナは、祈りによってナジル人の契約を持ちました（Ⅰサム 1:9～11）

（2）母ハンナの祈りは、感謝の賛美になりました（Ⅰサム 2:1～10）

2）サムエルはみことばが途絶えた時代に、神様の答えを受けました（Ⅰサム 3:1～18、19）

3）サムエルを通して神様のみことばが成就しました（Ⅰサム 7:1～15）

3. サムエルが受けた、後の答えがあります

1）サムエルが生きている間、ペリシテが攻めて来ることはなく、戦争がありませんでした（Ⅰサム 7:1～15）

2）サムエルは、ダビデに油をそそいで王として立てて契約を伝えました（Ⅰサム 16:1～13）

聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

23

聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- [x] 聖書
- [ ] 献金
- [ ] 筆記用具
- [ ] ＜子どもの祈りの手帳＞
- [ ] 週報を読む

一週間握るみことば

5か　ダビデがあらかじめ持ったこと

詩 78:70～72　主はまた、しもべダビデを選び、羊のおりから彼を召し、乳を飲ませる雌羊の番から彼を連れて来て、御民ヤコブとご自分のものであるイスラエルを牧するようにされた。彼は、正しい心で彼らを牧し、英知の手で彼らを導いた。

1. ダビデがあらかじめ持ったことがあります

1）ダビデは霊性と知性、信仰と実力がありました（詩 78:70～72）
2）ダビデに神様の霊が激しくくだりました（Ⅰサム 16:1～13）
3）神様の霊に満たされたダビデを通して、サウルについた悪霊が離れました（Ⅰサム 16:23）

2. ダビデがあらかじめ持った答えがあります

1）ダビデは神様の力をもってゴリヤテと戦って勝ちました（Ⅰサム 17:1～47）
2）ダビデは主なる神様がまことの羊飼いだと告白しました（詩 23:1）
3）ダビデは主なる神様がくださる力を持っていました（詩 18:1）

3. ダビデに後に起こった答えがあります（Ⅰ歴 29:10～14）

ーダビデは神様の願いである神殿建築の準備をすべてしました

聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所

30

聖日（主日）

礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- ☑ 聖書
- ○ 献金
- ○ 筆記用具
- ○ ＜子どもの祈りの手帳＞
- ○ 週報を読む

一週間握るみことば